

# TAMA マイクロフォン デスクアーム (MSDA206BK)

## 取扱説明書

この度は TAMA マイクロフォン デスクアームをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。  
製品の機能を十分に発揮し、安全にご使用いただくためにご使用前に必ず本説明書と同梱されているお取り扱い上の注意をお読みください。  
また、本書は大切に保管してください。

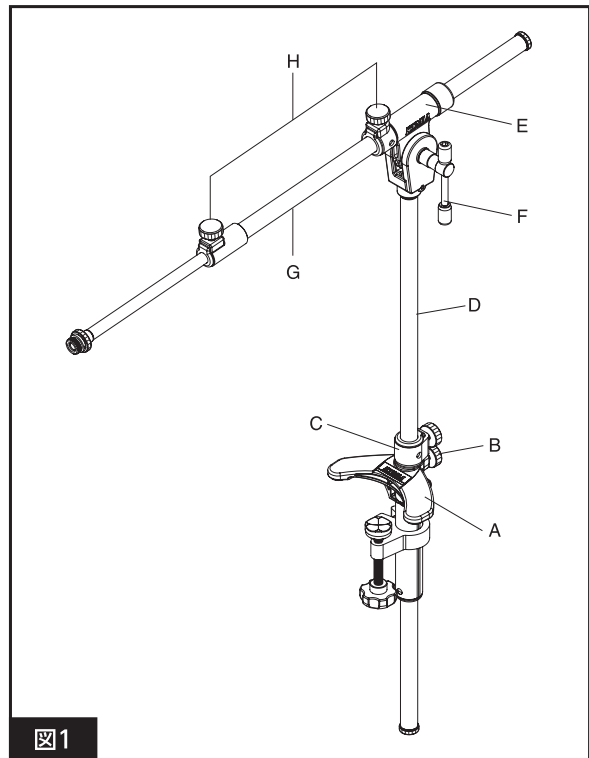


図1

### 各部の名称

- A: デスククランプ
- B: 高さ調整ノブ
- C: メモリーロック (落下防止パーツ)
- D: 垂直パイプ
- E: ブームティルター
- F: ブームティルター固定ハンドル
- G: ブームアーム
- H: ブームアーム固定ノブ

### 付属品

- ・本説明書
- ・安全にお使いいただくために
- ・3/8" → 5/8" 変換アダプター
- ・ヘッドフォンフック
- ・5mm 六角 L レンチ

### 使用上の注意

- 本体や机が破損する恐れがありますので、本製品をテーブルに設置した状態でパイプ部に強い衝撃を与えないでください。
- 設置場所の素材などによっては、テーブルに取り付け痕が残る場合があります。
- マイクロフォン以外を取り付けないでください。
- 高さの調整を行った後は、必ずメモリーロック (C: 落下防止パーツ) をクランプ部上端まで下して、ノブをしっかりと締めて固定してください。このパーツはマイクロフォン/ブームアームの予期せぬ落下を防止する役割があります。

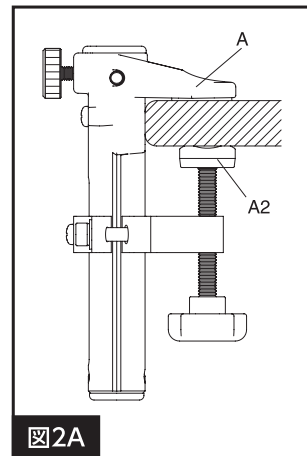


図2A

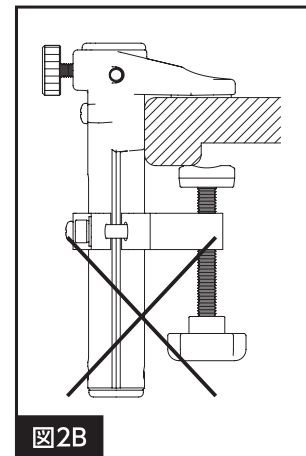


図2B

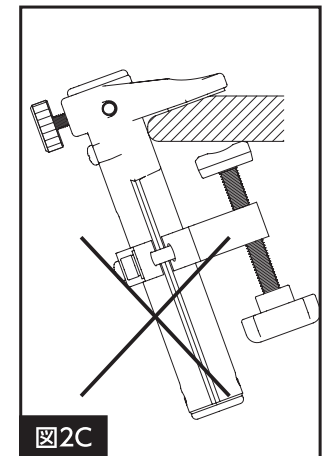


図2C

### 設置上の注意

- 設置場所の強度を確認して設置してください。設置場所の強度不足や接地不備による事故に対して、当社は責任を負いません。
- 本製品は1.0kg以下のマイクロフォンの取り付けを前提に設計されています。特にブームアームを水平に伸ばし切ってご使用される場合は各調整部の固定ノブやハンドルをしっかりと締めてご使用ください。
- デスククランプは、図2Aの様にクランプ本体 (A) とパッド部 (A2) の全面が天板に平坦に接する様に取り付けてください。
- 図2Bの様に裏側が平坦でない机や、図2Cの様に天板の端に傾斜があるような机には本製品を取り付けられません。
- 設置後も定期的に固定ノブやハンドルを締め直してください。特にデスククランプが緩んだり、がたついたりしたまま使用すると、マイクロフォン/ブームアームの落下により製品の破損やケガ、事故の原因になります。

### デスクへの取り付け

本製品を取り付ける机の推奨設置寸法は図3の通りです。工場出荷時の設定で、厚さ40ミリまでの天板の机に取り付け可能です。天板の裏側にフレームがある場合、天板の端からフレームまで45mm以上ある事を確認してください。

1. ハンドル (A1) を十分に緩めて、デスククランプをテーブルの縁に差し込みます。
2. ハンドルをしっかりと締めて固定します。この時、クランプ上部とパッド部 (A2) 全体が平坦になるように取り付けてください。(図2A)

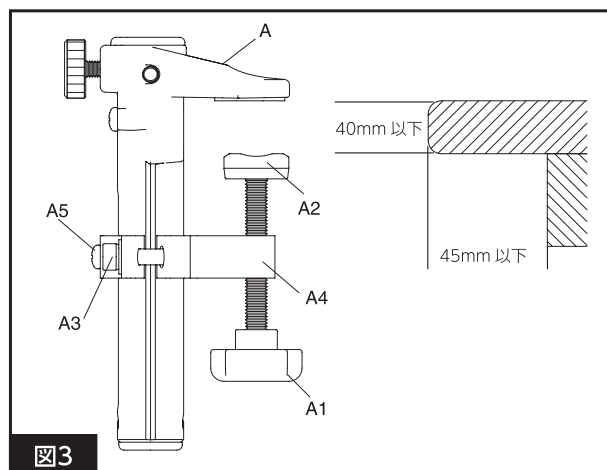


図3

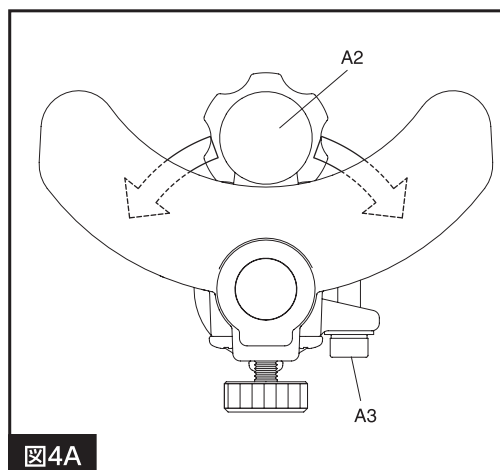


図4A

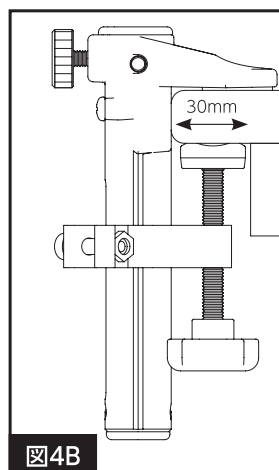


図4B

### MEMO

- 厚さ40mm以上の天板の机に取り付ける際には、クランプ固定ボルト (A3) を付属の六角レンチで緩めて適当な位置まで可動クランプ (A4) を下げ、開口幅を調整してから固定してください。開口部を最大に広げた場合、厚さ90mmまでの天板に取り付け可能です。
- 天板裏側のフレームまでの距離が30mm以上あれば、プラスネジ (A5) を外してクランプ固定ボルト (A3) を緩め、図4Aのようにパッド部 (A2) の位置を円弧状に移動させる事で取り付け可能となります (図4B)。

### 注意

上記の調整をしても、天板の角に丸みがあってパッド部全面が天板の裏側に接しない様な場合、本製品は取り付けられません。

### ヘッドフォンフックの取り付け (図5A, 図5B)

- 必要に応じて付属のヘッドフォンフック (I) を取り付けられます。  
2本のプラスネジ (A6) をドライバーで外し、図5Bの様にヘッドフォンフックを固定してください。

### 高さ調整 (図1, 図5B)

高さ固定ノブ (B) を緩めると垂直パイプ (D) の高さを調整出来ます。お好みの高さで (B) を締めて固定します。  
お好みの高さでメモリーロック (C) の固定ボルト (C1) を締め付けると、固定ノブ (B) が緩んだ状態でも垂直パイプの高さを保持し、必要に応じてマイクを正面から避ける事が出来ます。

### ブームアームの調整 (図1)

ブームアーム (G) を片手で持って、ハンドル (F) を緩め、ブームアームをお好みの角度を調整し、ハンドルを締めて固定します。  
ブームアームの長さは固定ボルト (H) を緩めて好みの長さにブームアームを調整し、お好みの長さで固定ボルトをしっかりと締めてください。  
テレスコープ (二段) のブームアームを採用していますので、より状況に応じたマイキングが出来ます。

### マイクホルダー等の取り付け

本製品のブームアーム先端は3/8"規格が標準となっていますが、出荷時には5/8"への変換アダプターが取り付けられています。3/8"規格のマイクホルダーを取り付ける場合は、先端のアダプターを外してご使用ください。  
3/8", 5/8"以外の規格のマイクホルダーが使われる場合は、市販の変換アダプターを別途お買い求めください。

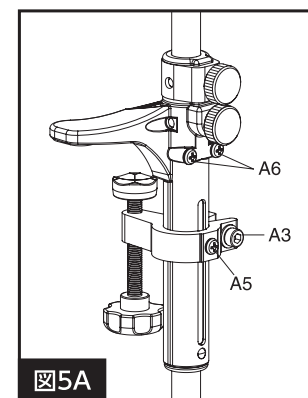


図5A

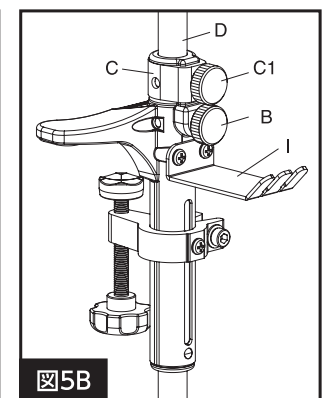


図5B